



平成30年1月31日

福岡県内経済情勢報告

平成30年1月

財務省福岡財務支局

〔問い合わせ先〕

財務省 福岡財務支局 経済調査課

TEL 092-411-9038

FAX 092-452-1318

福岡県内経済情勢報告（平成30年1月）

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、回復しつつある」

項目	前回（29年10月判断）	今回（30年1月判断）	前回比較
総括判断	回復しつつある	回復しつつある	

（注）30年1月判断は、前回29年10月判断以降、30年1月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は緩やかに回復しているほか、生産活動は回復しつつあり、雇用情勢は改善している。

【各項目の判断】

項目	前回（29年10月判断）	今回（30年1月判断）	前回比較
----	--------------	-------------	------

個人消費	回復しつつある	緩やかに回復している	
生産活動	回復しつつある	回復しつつある	
雇用情勢	改善している	改善している	

設備投資	29年度は増加見通し	29年度は増加見込み	
企業収益	29年度は増益見通し	29年度は増益見込み	
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	
公共事業	前年度を下回っている	前年度を下回っている	
輸出	前年を上回っている	前年を上回っている	

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性などに留意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに回復している」

百貨店・スーパー販売額は、主力の衣料品で冬物衣料に動きがみられたほか、化粧品が好調なことなどから、前年を上回っている。コンビニエンスストア販売額は、新規出店効果に加え、店内調理の食料品が好調なことなどから、前年を上回っている。乗用車販売は、全体では前年を下回っているなか、低燃費車が堅調であることなどから、普通車が前年を上回っている。家電販売額は、機能性の高い白物家電や暖房機器に動きがみられることなどから、前年を上回っている。

■ 生産活動 「回復しつつある」

輸送用機械の自動車は、新型車投入効果により海外向けが好調に推移するなど、回復しつつある。鉄鋼は、海外向けの軌条や国内外向けの自動車用鋼材が好調なことなどから、高い操業を維持している。電子部品・デバイスは、スマートフォンや車載向けなどを中心に引き続き好調に推移している。

■ 雇用情勢 「改善している」

有効求人倍率は上昇しており、雇用情勢は改善している。新規求人数は、卸売業・小売業、医療・福祉業等で増加している。新規求職者数は、引き続き前年を下回っている。

■ 設備投資 「29年度は増加見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」29年10-12月期

29年度は、製造業は前年比35.8%の増加見込み、非製造業は同19.4%の増加見込みとなっており、全産業では同23.8%の増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「29年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」29年10-12月期

29年度は、製造業は前年比15.2%の増益見込み、非製造業は同6.0%の増益見込みとなっており、全産業では同8.2%の増益見込みとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

新設住宅着工戸数で見ると、貸家の減少などから前年を下回っている。

■ 公共事業 「前年度を下回っている」

公共工事前払金保証請負金額(29年度累計)で見ると、国、独立行政法人等で増加しているものの、県、市町村などで減少していることから、前年度を下回っている。

■ 輸出 「前年を上回っている」

輸出(円ベース)は、前年を上回っている。なお、輸入(円ベース)は、前年を上回っている。

(その他項目)

- 企業の景況感を法人企業景気予測調査(29年10-12月期)の景況判断BSIで見ると、29年10-12月期は、「上昇」超に転じている。先行きについては、30年1-3月期は、引き続き「上昇」超の見通しとなっている。
- 企業倒産の件数は、前年と同じである。
- 消費者物価(福岡市)は、前年を上回っている。
- 貸出金残高は、前年を上回っている。